

# 令和2年度事業報告

令和2年度、一般社団法人持続可能社会推進コンサルタント協会（以下、「協会」という。）の役員、職員及び各部会委員等は、定款及び諸規則等に従い適正に協会の運営管理を行うとともに、令和2年度事業計画に基づき、第四期将来ビジョンの推進、調査研究、人材育成、技術の普及啓発、対外活動及び国際協力等に係る事業を実施した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、首都圏をはじめ近畿エリア等で緊急事態宣言が発出され、企業活動のみならず日常生活にも大きな影響を及ぼした。いわゆる3密回避や人の異動を制限するために、在宅勤務やスプリット出勤が行われ、日本全国で人々が集う会合の多くが中止され、場合によってはWeb等による会合に切り替えられた。

協会活動も例外ではなく、総会、理事会、各部会・研修会等は書面・Web・メールベースでの開催を余儀なくされ、活動自体を中止・延期せざるを得ない場合もあった。他方で従来実質的に参加が困難な場合が多かった多数の会員にとっては、Webによる開催によって時間的或いは場所的な制約条件が大幅に緩和されたため、例えば技術セミナーには予想をはるかに上回る参加者があるなど、さまざまな手法を用いた開催方法があることが明らかになり、今後の協会活動のあり方を考える上でも、示唆に富んだ今年度の経験であったと考えられる。

また、気候変動に伴う激甚な自然災害の頻発は近年一層顕著になっており、災害廃棄物の問題が大きな社会問題となっている。環境省からの依頼に基づき協会としてD-Weste-Netの一員として、広範な被害をもたらした令和2年7月大雨の被災地である福岡県、熊本県及び大分県には新型コロナウイルス感染症の拡大の中にも関わらず、多数の技術者を派遣した。

わが国の国力に大きく関係する災害の頻発や人口減少が継続するなど、社会経済状況が大きく変化していくなかで、今般の新型コロナウイルス感染症など未知の分野に直面する複雑な環境の下、協会としても、いかなる形で社会に貢献していくかを考える上で、重要な時期であると考えられる。

以下、令和2年度事業の実施状況について報告する。

## 1. 協会の運営管理

### (1) 総会

#### ①第9回 定時総会

日 時	令和2年5月29日（書面審議によるみなし開催）
議 案	令和元年度事業報告について 令和元年度決算及び監査報告について 役員を選任について
報 告	令和2年度事業計画について 令和2年度予算について
会長表彰	功績賞（会報・会員名簿等のデザイン）1名 功績賞（令和元年台風19号D-Weste-Net派遣）38名

#### ②臨時総会

日 時	令和2年11月16日（月）書面審議によるみなし開催）
議 案	定款及び役員選任方法に関する規則の一部改正について

### (2) 監事監査

日 時	令和2年4月20日（書面審査）
	（監査結果については第9回定時総会において報告）

### (3) 理事会

#### ①第17回理事会

日 時	令和2年4月30日（書面審議によるみなし開催）
議 案	令和元年度事業報告について 令和元年度決算及び監査報告について 役員を選任について 書面審査による社員総会の開催について 令和元年度表彰審査結果について 事務局長の就任について

#### ②臨時理事会

日 時	令和2年11月5日（書面審議によるみなし開催）
議 案	定款及び役員選任方法に関する規則の一部改正について 書面審議による臨時社員総会の開催について

#### ③第18回理事会

日 時	令和3年2月26日（書面審議によるみなし開催）
-----	-------------------------

議 案 令和3年度における会費区分について  
令和3年度事業計画（案）について  
令和2年度予算（案）について  
第6期役員候補名簿（案）について

#### （4）部会・委員会

##### ①総務部会

第1回 令和2年8月6日（木）14:00-（Web会議）  
会報第84号について  
新型コロナウイルス感染症対策に係る各社の取り組みについて  
新しい生活・行動様式下における協会活動のあり方今後の予定について 等

第2回 令和2年12月3日（木）14:00-（Web会議）  
会報第85号について 等

第3回 令和3年2月15日（月）13:30-（Web会議）  
令和3年度の会費区分について  
令和3年度事業計画（案）及び予算（案）について  
会報第86号について 等

##### ②対外活動部会

令和2年12月17日（木）10:30-（Web会議）  
各種活動・行事について  
各種パンフレットについて

##### ③技術部会

令和2年8月20日（木）14:00-（Web会議）  
令和2年度第17回技術者研修講座について  
令和2年度技術セミナー・技術発表会について  
令和2年度自治体職員のための廃棄物処理施設整備セミナーについて

#### ④国際部会

令和2年11月17日（火）10:30-（Web会議）  
第10回 SuSPCA/OECC 合同セミナーについて  
国際部会が担当する業務の役割分担等について

#### (5) 表彰審査会

令和2年4月23日（木）（メール会議）

#### (6) 役員候補者選考委員会

第1回 令和2年12月4日（金）10:30-（Web会議）  
役員候補者選出について  
選出の手続きの進め方とスケジュールについて

第2回 令和2年12月8日（火）（メール会議）  
第6期正会員役員候補者の募集及び選出（公告）について

第3回 令和3年2月10日（水）10:30-（Web会議）  
第6期正会員役員候補者推薦書の届け出の結果について

#### 参考

令和2年12月9日（水）第6期正会員役員候補者の募集及び選出（公告）

令和3年1月29日（金）提出期限

#### (7) 人 事

令和2年4月1日 職員採用 総務部長 末武尚之

令和2年5月27日 退任 理事 由田秀人

令和2年5月27日 就任 理事 大熊洋二（重任）

令和2年5月27日 就任 理事 袖野玲子

令和2年5月31日 退職 事務局長 島森竹一

令和2年6月1日 就任 事務局長 末武尚之

(8) 表彰

○会長表彰

第8回定時総会（令和2年5月29日）において、会長から賞状と記念品を贈呈した。

功績賞 嶋影徹（㈱エックス都市研究所）

功績賞 令和元年台風第19号に係るD.Waste-Net派遣38名

平山 涼一	(株)エイト日本技術開発
伊達 誠	(株)エイト日本技術開発
呂 航	(株)エイト日本技術開発
衛藤 学	(株)エイト日本技術開発
宮脇 岳雄	(株)エイト日本技術開発
中川 秀利	(株)エイト日本技術開発
佐竹 佑太	(株)エイト日本技術開発
福島 孝亮	(株)エイト日本技術開発
千葉 俊彦	(株)エックス都市研究所
岩崎 飛竜	(株)エックス都市研究所
中村 優	(株)エックス都市研究所
岩下 信一	応用地質(株)
山田 大介	応用地質(株)
佐々木 基	(株)オオバ
伊藤 孝	(株)環境技研コンサルタント
眞山 智之	(株)環境技研コンサルタント
有賀 荘司	(株)環境技術センター
清澤 宏之	(株)環境技術センター
小川 勉	(株)環境技術センター
味澤 伸輔	(株)環境技術センター
唐澤 正樹	(株)環境技術センター
垣野 泰斗	(株)建設技術研究所
猪狩 富士夫	(株)建設技術研究所
藤村 拓也	(株)建設技術研究所
岸元 篤史	(株)建設技術研究所
山田 若菜	(株)建設技術研究所
谷本 晃一	(株)中部設計
大田 実果	(株)東和テクノロジー

佐々木未穂	(株)東和テクノロジー
木村 恭子	日本工営(株)
藤田 敏郎	パシフィックコンサルタンツ(株)
村上 和	パシフィックコンサルタンツ(株)
川添 優	パシフィックコンサルタンツ(株)
本庄 孝明	パシフィックコンサルタンツ(株)
池澤 紀幸	(株)復建技術コンサルタント
有馬 義二	(株)復建技術コンサルタント
後藤久美子	八千代エンジニアリング(株)
朝日 大輔	八千代エンジニアリング(株)

### ○環境大臣表彰

協会が推薦した岩下信一氏（応用地質(株)）が、「令和2年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰（廃棄物・浄化槽研究開発功労者）」を受賞。

## 2. 調査研究の推進



### (1) 廃棄物・資源循環マネジメント技術に関する調査研究

廃棄物分野における情報技術利活用専門委員会（平成30年度～）

（主査:入佐孝一(八千代エンジニアリング(株))）

近年のIoTやAI等の情報関連技術の目覚ましい技術革新を踏まえ、情報関連技術の廃棄物処理施設の建設・運転・維持管理におけるハード面での利活用の動向とともにコンサルタント業務としての発注支援における情報関連技術の利活用の可能性や費用対効果等を検討している。先進事例の視察として、日立造船(株)を訪問し意見交換等を実施。

### (2) 廃棄物コンサルタント業の発展・改善に関する調査研究

廃棄物コンサルタント業務の品質向上に関する検討委員会その2（平成28年度～）

（主査：西山勝栄 技術部会副部長（(株)建設技術研究所））

「廃棄物コンサルタント業務の品質向上に関する検討委員会その2」は、最終処分場に関するコンサルタント業務について基本構想、基本計画・基本設計業務、詳細設計の各業務段階において留意すべき品質確認項目の抽出・整理を行い、品質チェックが

イントシートを作成することを目指して検討を進めている。平成29年度には、「廃棄物コンサルタントの品質向上に向けて（最終処分場計画・設計業務編）」を報告書としてとりまとめた。現在、引き続き、「最終処分場の発注・契約事務支援（調達支援）業務編（設計・施工一括、総合評価落札方式）」について検討を進めている。また、作成した報告書等が実際に会員各企業においてどの程度活用されているのかアンケート調査を行った。

### （3）環境省受託事業

#### ①令和2年度「令和2年7月大雨」災害廃棄物処理支援業務(その2)

事業期間 令和2年7月7日～令和2年9月30日  
契約金額 3,638万8,000円（消費税込み）  
業務概要 令和2年7月大雨に係る災害廃棄物処理支援のために約3か月間、福岡県、熊本県及び大分県に会員会社の技術者職員44名を派遣。

#### ②令和2年度放射性物質により汚染された廃棄物の実態調査及び最終処分場の管理に関する技術的検討業務

事業期間 令和2年12月21日～令和3年3月26日  
契約金額 1,155万円（消費税込み）  
業務概要 放射性物質により汚染された特定一般廃棄物及び特定産業廃棄物の最終処分場について、その実態を把握し技術的課題や改善点等を抽出し、長期的な管理手法を検討。  
業務を円滑に実施するために、業務に参加する会員会社技術者で構成する「令和2年度環境省受注特定一産廃最終処分場調査検討委員会」（主査:古田秀雄（株）建設技術研究所）を設置。

## 3. 人材育成、技術の普及啓発の推進



### （1）技術士試験対策講習会

開催日 令和2年4月15日（水）14:00-（Web開催）

受講者 16名（協会会員会社15名、外部1名）

プログラム

挨拶 技術部会長 森孝信（株）エイト日本技術開発）

講義 ～試験対策のポイント～

技術部会委員 前田伊端実（応用地質株）

合格者体験談① 令和元年度合格者 平野利明（株）ホクスイ設計コンサル）

合格者体験談② 令和元年度合格者 杉山智春（八千代エンジニアリング㈱）

（2）廃棄物管理セミナー（予定を含む）

主 催 一般社団法人持続可能社会推進コンサルタント協会技術部会

共 催 福岡大学、NPO 法人環境技術支援ネットワーク

受講対象 一般社団法人持続可能社会推進コンサルタント協会会員

方 式：Web

日 程：1回/月、2時間程度

日 程	テーマ	講 師	概 要
第1回 令和3年1月27日(水) 13:30~15:30	これからの廃棄物管理 (1)	福岡大学 樋口壯太郎	施設整備におけるトータルシステム（焼却、資源化施設、最終処分）の重要性について
第2回 令和3年2月24日(水) 13:30~15:30	バイオアッセーを用いた浸出水環境管理	エックス都市研究所 土井麻記子	化学物質の複合反応評価として生物指標を用いた方法について（特に最終処分場浸出水、処理水、放流先）
		神鋼環境ソリューション 藤原尚美	バイオアッセー簡易手法としてアカヒレ、オオミジンコを用いた方法とその実施例を紹介する。
第3回 令和3年3月31日(水) 13:30~15:30	埋立地における硫化水素対策	福岡大学 為,田一雄	廃石膏ボード埋立地における硫化水素の発生抑制、埋立管理の方法と事例について
第4回 令和3年4月28日(水) 13:30~15:30	副生塩とリサイクル	福岡大学 為,田一雄	セルモデルを用いた浸出水の塩化物イオン濃度予測手法について
		福岡大学 樋口壯太郎	焼却施設、浸出水脱塩処理から発生する副生塩対策とリサイクル（消毒剤、酸、アルカリ、道路凍結防止剤）
第5回（予定） 令和3年5月28日(金) 13:30~15:30	焼却炉解体技術	環境対策研究会 大塚義一（(株)奥村組）	焼却炉解体時における環境管理手法について
		トータル環境㈱ 川添栄治郎	焼却施設解体時のテントによる被覆工法、および施工例
第6回（予定） 令和3年6月29日(火) 13:30~15:30	これからの廃棄物管理 (2)	福岡大学 樋口壯太郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終処分場の安定化、廃止面から見た、上流側（主として焼却）への提言</li> <li>・焼却施設で使用する脱塩剤、飛灰安定化剤提案</li> <li>・最終処分場におけるキレート対策</li> <li>・廃棄物情報管理システムについて</li> </ul>



## 4. 対外活動の推進



### (1) 「令和元年度版 廃棄物コンサルタントの活用について」の作成

令和2年6月に、「令和元年度版 廃棄物コンサルタントの活用について」を受注高調査結果に基づきアップデート（10,000部作製）。全都道府県市区町村、一部事務組合等に配布。

パフレットの概要は次のとおり。

- ・廃棄物コンサルタントの技術力による選定
- ・発注方式の選定手順（案）
- ・品質の確保と向上
- ・最近の日本廃棄物コンサルタント協会の活動

### (2) D-Waste- Net

令和2年度「令和2年7月大雨」災害廃棄物処理支援業務(その2)により令和2年7月7日～9月30日までの約3か月間、福岡県、熊本県及び大分県の3県に会員会社の技術者44名を派遣した。

### (3) 地方自治体アドバイザーとしての展開

全国都市清掃会議総会・評議員会等での広報

第42回公益社団法人全国都市清掃会議「第42回全国都市清掃研究会・事例発表会（令和3年1月20日・21日、福山市）」において以下の論文発表

- 情報技術を活用した廃棄物処理施設の事業調達における留意点  
入佐孝一 八千代エンジニアリング(株)
- 災害廃棄物処理（D-Waste Net を通じた活動）  
藤塚哲朗 専務理事
- 災害廃棄物処理における廃棄物コンサルタントの現地支援活動について  
佐伯敬 (株)東和テクノロジー
- 令和2年7月豪雨で被災した球磨村の片付けごみ収集運搬  
大田実果 (株)東和テクノロジー

(新型コロナウイルスのため行事は中止となり論文集が配布された)

#### (4) 関係機関、関係団体との連携

##### ① 日本廃棄物団体連合会の行事への参加

日本廃棄物団体連合会の総会、幹事会及び講演会等に、協会役員等が参加。

##### ② 関係機関等への協力及び委員派遣等

###### ○日本廃棄物団体連合会

監事 藤塚哲朗 専務理事

###### ○(一社)廃棄物資源循環学会

評議員 日高 彰 会長 (パシフィックコンサルタンツ(株))

理事 森 孝信 副会長 (株)エイト日本技術開発)

理事 袖野玲子 理事 (芝浦工業大学)

理事 友田啓二郎 監事 (株)東和テクノロジー)

監事 橋詰博樹 監事 (多摩大学)

###### ○公益社団法人全国都市清掃会議

・「汚泥再生処理センター等施設整備の計画・設計要領」

(編集発行：社団法人全国都市清掃会議)の改訂

主査 森 智志 技術部会委員 (株)N J S)

・機関誌「都市清掃」編集委員会

委員 入佐孝一 技術部会委員 (八千代エンジニアリング(株))

###### ○一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会

環境技術会誌編集委員会

委員 森 智志 技術部会委員 (株)N J S)

#### 5. 国際協力の推進



##### (1) 廃棄物管理分野の国際協力に関する地方公共団体プラットフォーム検討委員会 (環境省事業)

委員 藤塚哲朗 専務理事

## 廃棄物管理分野の国際協力に関する地方公共団体プラットフォーム

廃棄物管理分野の国際協力には、廃棄物管理の黎明期にインフラ整備や作業改善等を進めてきた地方公共団体の知識や経験の活用が不可欠であるが、職員の高齢化等により、そうした知識や経験（知見）が失われつつある。その「知見」を次世代以降に伝承するとともに、地方公共団体に質の高い国際協力の実施を継続的に担っていただくために必要な支援を行う枠組として、環境省は令和元年度より「廃棄物管理分野の国際協力に関する地方公共団体プラットフォーム（仮称）」の構築に向けた検討を開始し、令和3年度のプラットフォームの試行実施を目指している。

### (2) 海外案件に関する受注高調査

国内受注高調査に合わせて、正会員各社を対象にして令和元年度の海外案件に関する受注高調査を令和2年3月に実施し、その集計結果を会報第84号（令和2年10月発行）に掲載。また、令和2年度年度の海外案件に関する受注貴調査については、令和3年3月2日付けで正会員各社に調査票を送付。

## 6. 協会運営等に係る事業



### (1) 廃棄物コンサルタント業務の発展・改善に関する活動（受注高調査）

正会員各社を対象に令和元年度の国内受注高及び海外受注高についてアンケート調査を行い、その集計結果を、会報第84号（令和2年10月発行）に掲載した。なお、平成2年度受注高調査については、令和3年3月2日付けで正会員各社に調査票を送付。

### (2) 会報その他印刷物の刊行、広報活動

#### ① 会報の発行

令和2年10月（第84号）、令和3年3月（第85号）（各4,000部）を全都道府県市区町村の循環型社会推進・脱炭素・自然共生担当部門、環境省、関係機関及び会員に

配布。

#### ②会員名簿の発行

令和2年6月に2020年版会員名簿（印刷部数4,000部）を全都道府県市区町村の循環型社会推進・脱炭素・自然共生担当部門、環境省、関係機関及び会員に配布。

#### ③リーフレット「協会のご案内」及びポスターの印刷

令和2年10月に、協会リーフレット「協会のご案内」を作成（5,000部）し、全都道府県市区町村の循環型社会推進・脱炭素・自然共生担当部門、環境省、関係機関及び会員に配布。

#### ④ホームページ

適時適切にホームページを更新するとともに、協会のイベント等の開催案内を掲載し、協会の活動状況を周知した。

### （3）その他

#### ①Web会議システムの導入

新型コロナウイルス感染症のため一同が集合しての会議開催が困難になったことから事務局にWeb会議システム（Zoom）を導入し、各種会議を開催している。

#### ②事務局活動のグリーン化等

事務局活動により排出される使用済みコピー用紙、包装用紙、段ボール箱及び新聞紙等に関して、リサイクルを促進し、事務局から排出される紙類廃棄物量の低減を図るため、「ちよだ・エコオフィス町内会」活動に参加し、事務局活動により発生する様々な古紙の回収を開始した。

事務局経費を一層削減し、もって財政状況の健全化を促進するため、毎日の様々な活動場面でリユース・リデュース等を心掛けるなどの意識づけを行っている。

#### ③倫理の向上等に関する活動

不当要求による事業者及び使用人等の被害を防止するために、不当要求防止責任者講習を受講し、事務局に不当要求防止責任者（事務局長）を設置。